

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	119番受信事業	所管	消防本部 指令課
			TEL 2929-9119

事業の目的 (何の為に 行うか)	119番通報を迅速かつ正確に受信し、消防出場体制を円滑に図り市民生活の安全・安心を確保することを目的とする。
------------------------	--------------------------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としているか)	市民	対象とした数	339,058
		実際に 利用した数	22,707 人

活動の内容 (何を したか)	①119番通報を消防緊急通信指令システムで受信し、災害現場を特定して、通報内容に応じた出場隊編成を行い、各署所に出場指令する。 ②災害現場の特定に発信地表示システムを有効活用する。							
	活動実績	項目名	出場指令	13358 ----- 単位 件	項目名	発信地表示システム活用	11083 ----- 単位 回	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	161,217	160,563	289,073	849.7

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	新システムによる受信時間の短縮	旧システムの平均受信時間「124秒」を目標値として、発信地表示システムを活用した新システムの平均受信時間	124 ----- 単位 秒	110 ----- 単位 秒	112.7 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価 の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし その他〔 〕 終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	119番受信事業	担当部	消防本部	部課コード	100500	TEL	2929-9119
事業コード	100501	課	消防本部 指令課	グループ	第1.2.3グループ		
開始年度	平成 4 年度	→	終了年度	平成 年度			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	消防法			
	分野別計画・指針	なし							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	1 消防力の充実	小柱	(2) 消防通信体制の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 13 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○					
事業開始の背景	旧式の指令システムでは災害現場の特定、及び出場隊の編成に時間を要していた事、及び近年各種災害出動件数の増加に伴い、より迅速な119番通報の受信がスムーズに行えるシステムが必要となり、平成4年に消防緊急通信指令システムを導入して119番受信事業を実施するに至った。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	119番通報を迅速かつ正確に受信し、消防出動体制を円滑に回り市民生活の安全・安心を確保することを目的とする。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市民		利用数の考え方 119番通報者数				
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	利用数	単位	平成 18 年度	23,574 人
			平成 19 年度	339,058			平成 19 年度	22,707 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	①119番通報を消防緊急通信指令システムで受信し、災害現場を特定して、通報内容に応じた出場隊編成を行い、各署所に出動指令する。 ②災害現場の特定に発信地表示システムを有効活用する。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
平成19年度中に改善した点								
消防緊急通信指令システムの地図データ更新作業を行い、災害地点の早期確認を図れるようにした。								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		7,571	161,217	159,956	
	決算 (見込み含む)		7,507	160,563		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)			
	正規職員人件費		11.35 人 104,420	13.68 人 128,510		※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費					
	事業費合計		111,927	289,073		
	財源内訳	一般財源		111,927	289,073	159,956
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		331.3	849.7		
	利用数一単位あたり(単位:円)		4,747.9	12,730.6		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	出場指令	年間指令件数	件	13913	13358	14000
		発信地表示システム活用	年間活用回数	回		11083	12000
	成果分析	新システムによる受信時間の短縮	旧システムの平均受信時間「124秒」を目標値として、発信地表示システムを活用した新システムの平均受信時間	秒	目標値	124	124
			%	実績	110		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				達成率	112.7		2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 所沢市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	119番受信時間の短縮を図るためには、地図データの継続更新作業が必要となる。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	迅速な指令	実績値(110秒)の維持・短縮	年度中	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	「119番受信事業」は通報手段が複雑多様化の傾向にあり、高齢化社会の到来と共に災害受信件数は年々増加していることから、市民生活の安心・安全を確保するために、より迅速・確実な119番受信体制を実施して行く。			
評価日	平成20年5月7日	記入者職氏名	指令課長 藤宮直樹	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	評価理由	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード						
	施策の体系	施策の方向						
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード						
	基本目標	主要課題						
	施策の方向							